

**製品名: ATG16L1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81530**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	68.3kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ATG16L1
別名	IBD10; WDR30; APG16L; ATG16A; ATG16L
遺伝子 ID	55054.0
SwissProt ID	Q676U5
免疫原	大腸菌で発現したヒト ATG16L1 (AA: 11-257) の精製された組み換え断片。

**背景**

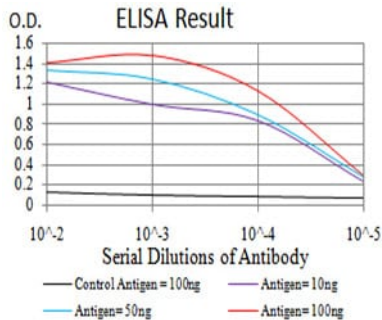
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞内成分をリソソームに誘導して分解する主要なプロセスであるオートファジーに必要な大きなタンパク質複合体の一部です。この遺伝子の欠陥は、炎症性腸疾患 10 型 (IBD10) の感受性の原因となります。この

遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションがみつかっています。

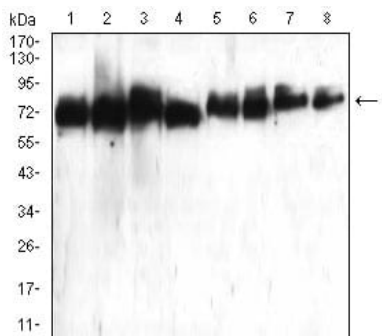
## 研究分野

オートファジー

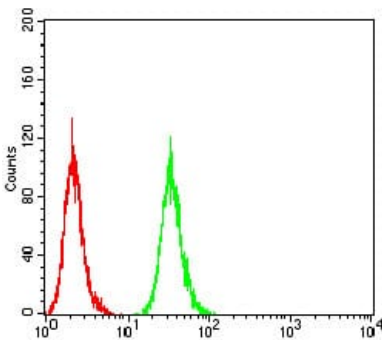
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



Hela ( 1 ) 、 Raji ( 2 ) 、 PANC-1 ( 3 ) 、 Jurkat ( 4 ) 、 PC-12 ( 5 ) 、 HepG2 ( 6 ) 、 Hek293 ( 7 ) 、 および NIH3T3 ( 8 ) 細胞溶解物に対する ATG16L1 マウス mAb を使用したウエスタンブロット解析。



ATG16L1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。